

「カンザシ」を考えてみました

「カンザシ」とは??

残念ながら



ではありません！

解体現場でみかける



これです💧💧💧

艶っぽくありませんが、単管とクランプで作った外部足場の壁つなぎです。 **大切なものです！**

大切なものですが、強度面ではどうなのでしょう！？

通常の仮設工業会認定品の壁つなぎの許容強度は4.41kNです。

それに対してクランプの許容荷重は4.9kNですので充分なのですが…
仮設工業会の認定試験では滑りが許容されております。

滑りの許容値は10mmです

「かんざし」ではクランプの滑り方向に力が加わります。

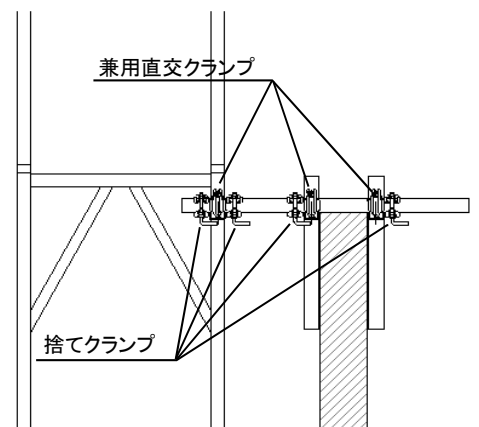
壁つなぎが滑ってはまずいですよね 💧💧💧

そこで、右の図のように鬼クランプなどを捨てクランプとして取付けています

…これってどこまで信頼できるものなのでしょう？？？

捨てクランプを配置することにより、許容値を倍にしてみたり…

私もたまにやりましたがm(＿)m



根拠があるのでしょうか？？

荷重試験とかあるのでしょうか…聞いたことはありません！

こんなことになりたくないですね 💧💧💧



設置の数が少ない！

設置のし方が悪い！

言い分はあるでしょうが、

危険の可能性は排除したいですね～



確かに解体工事では、

ガラが落ちるので、通常の壁つなぎでは破損してしまう。

解体するような建物のコンクリートでは、後施工アンカーの信頼性が心配。

では、どうしましょう！？

考えてみました…

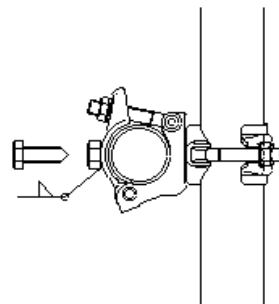


クランプに滑り止めを設ける

クランプのフタに穴を明けナットを溶接する。
パイプを緊結したら、剣先加工したボルトを締め込む。

認定品のクランプを加工してはいけません！

簡単で魅力的ですが、別の方法を考えましょう。



挟み込みにクランプを使わない

こんなのどうでしょうか？

高い??

重い??

